

＝競技取り決め事項＝

- 1 1日目の第1ゲーム開始前に主催者が開会宣言を行い、その後ゲームを開始する。
 - 2 ゲーム開始前、終了後は、プレーヤー5人のみがセンターサークル付近に整列し、相手チームのプレーヤーとあいさつだけする。（握手はせず、相手ベンチ、T0へのあいさつも行わない。手紙などの交換も行わない）
 - 3 第2・第4クォーターに出場する選手は、前のクォーターの残り2分を過ぎてからベンチのエンドライン側の延長上のスペースでウォーミングアップを始めてよい。その場合、試合に支障がないよう十分注意すること。ボールは使用禁止とする。
 - 4 次の試合のチームは、ハーフタイムには練習できない。
 - 5 前ゲーム遅延の場合は、ゲーム終了後10分間の練習時間をとる。
 - 6 各チームのベンチは、チームスタッフおよび選手の交代要員のための場である。そのため、メガホンや鳴り物を使った指示や応援をしない。
また、うちわも選手を扇ぐために使用するのはいいが、音を立てて応援に使用してはならない。
その他、ペットボトル、足等を使って、音を立てて応援をしてはならない。
 - 7 第1クォーターから第3クォーターの間にプレーヤーが怪我した場合、治療時間が約60秒以内であれば交代しなくてもよい。また、怪我等の状況確認や介抱・介助のため、審判の指示に従いベンチ内のコーチやチーム関係者がコートに立ち入った場合においても、プレーヤーは必ずしも交代しなくてもよい。
 - 8 第4クォーターを終了して同点の場合、1回戦、2回戦、準決勝、決勝、3位決定戦は延長戦を行う。交流戦は同点で試合を終了する。
 - 9 **2日目の交流戦は、マンツーマンコミッショナーを設けない。**
 - 10 2日目の組合せは、1日目最終ゲーム終了後、**ホームページに掲示する。**
 - 11 インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）に則り、「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を推進する。
コーチの振る舞いに対しては、「ゲーム中のコーチによるプレーヤーの暴言、暴力的行為に対する対応方針（ガイドライン）」に従い、テクニカルファールの対象となる振る舞いは、厳しく対応する。
 - 12 プレータイムを確保すること。
大会エントリーしたプレーヤーは、大会期間中に必ず全員に出場機会を与える。
大会期間中4試合の中で全員が1回はコートに出す。
プレータイムチェック表にてチームごとに管理し、全試合終了後に本部へ提出する。
- ※ **要項に記載の参加資格についての補足**
ゲームの指揮を執るヘッドコーチがゲーム中退場した場合は、ライセンスのランクに関わらずアシスタントコーチが指揮を執ることができる。
- ※ **上記の競技取り決め事項、及び要項に定めのない事項は、主催者にて協議し決定する。**